

第 35 卷 PDF 読本



秩父鉄道（羽生～三峰口）

上毛電鉄（西桐生～前橋中央）

上信電鉄（高崎～下仁田）

2024年10月30日 歩く鉄道作家 檜原 勉

<目次>

はじめに

第1章 秩父鉄道（羽生～三峰口） 5

第2章 上毛電鉄（西桐生～中央前橋） 19

正式名称：上毛電気鉄道

第3章 上信電鉄（下仁田～西吉井） 26

第4章 上信電鉄（西吉井～高崎） 32

秩父鉄道：71.7 km

上毛電鉄：25.4 km

上信電鉄：33.7 km

総営業キロ 130.8 km

はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第 30 弾目として、高崎線や両毛線に接続する、群馬県・埼玉県を走る、秩父鉄道・上毛電鉄・上信電鉄の旅（総営業キロ 130.8 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある榎原勉文庫拡充で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 44 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

（2005 年 5 月～2011 年 8 月で踏破）

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

<ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅“PDF 読本シリーズ中、カッシー館のブログに登場する「樫原勉文庫拡充」にて、次のPDF 読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第 36 編（日本横断歩き鉄の旅）

秩父鉄道・上毛電鉄・上信電鉄



上信電鉄
高崎駅

2021年12月12日 歩く鉄道作家 樫原 勉

第1章 秩父鉄道

第1節 5月14日(土):羽生～寄居 曇り

羽生(8:17)～西羽生(8:38)～新郷(9:03)～武州荒木(9:40)～東行田(10:32)～
行田市(10:5)～持田(11:25)～ソシオ流通センター(新設)～
熊谷(13:00)～上熊谷(13:15)～石原(13:33)～ひろせ野鳥の森(14:04)～
大麻生(14:35)～明戸(あけと、15:25)～武川(15:58)～永田(16:37)～
ふかや花園(新設)～小前田(おまえだ、17:37)～桜沢(18:05)～寄居(18:40)

2005年5月14日(土)、うす曇りの中、秩父鉄道(羽生＝寄居)33.8Kmに挑戦。昨日からの天気は15時位までは曇り、夕方は小雨とのことであったが、本日のコースに敢えて挑戦することにした。秩父鉄道の最初の出発点をどこにするか迷った。羽生からにするか三峰口にするか。それとも熊谷または寄居辺りにするか。しかし、昨日からの天気予報の結果を受け、平地が無難と判断し、羽生から寄居まで下ることにする。金曜日就寝前に、羽生駅へのアクセスの下調べをする。しかし、朝4時半過ぎに目が覚めたので、昨日の予定時間より出発時間を早め、南林間を5時29分の始発で臨むことにする。新宿6時28分、赤羽6時51分(小金井行き)、久喜7時49分で羽生駅を目指す。久喜駅での連結が悪く20分位待ち合わせとなる。蓮田から白岡にかけて、5月連休にかけて田植えしたと思える水田が、車中から見えた。久喜駅での待ち合わせ中、精神的に障害を持つ20歳位の若者(男)を見かける。意味不明な言葉を連発していた。この若者も足でバランスをとる動作をしていた。そう言えば、新宿駅で見かける20歳前女性と同様な動きをしていた。最近、街頭等で心に病を持った人をよく見かける。今の世の中にも責任があるろう。



武州荒木駅への路

東行田駅への路



左上：羽生駅 右上：羽生駅 左下：新郷駅 右下：武州荒木駅

羽生駅には 8 時 17 分到着。羽生駅は 3 月 20 日以来でこの駅の記憶をしっかりと残っていた。駅には熊谷行ききの 3 両編成の電車が我々伊勢崎線からの乗り継ぎ者を待っていた。電車は肌色の車両にブルー線の入った模様であった。単線でワンマンカーであった。しかし、寄居まで電車に乗ることなくつたい歩き挑戦となる。下見が全くなく不安はあったが、地図を見る限り、平坦で戦略的なコースでないと判断し、いきなりつたい歩きをすることにした。相模線でもこの戦法をとった。結果的には私の予想がぴったりの中することになった。羽生駅前には朝日生命のビルがあった。羽生実業高校（8 時 32 分）の手前まで 20 名位の女子高校生グループと一緒にいる。踏切の手前でこのグループは道路横断のため待っていた。私もこのグループと同タイミングで渡る。道路を横断するのに困っていたので助かった。西羽生駅には 8 時 38 分、駅員さんがいた新郷駅には 9 時 3 分に着く。親切にも 60 才位の駅員さんから私に挨拶して頂く。ウォーキングをしていると、見知らぬ人から挨拶を受けると、非常に爽快の気分になるものである。



左上：行田市駅 右上：持田駅 左下：熊谷駅 右下：石原駅

武州荒木駅の途中（9時15分）、100羽くらいの鳥の集団と対面する。田植え前の水田に群がっていた。また、上りの秩父路急行（急行料金必要）と対面する。乗客は殆どいなかった。JA広場に隣接した武州荒木駅には9時40分到着。下りの急行列車が通過して行く。墓地の目の前にあるホザサ保育園を9時46分通過。この二人の保母さんにも挨拶して頂く。小見交差点（9時55分）の手前には、武蔵水路があった。道路・水路・桜並木遊歩道・鉄道と平行して走るコースを500m位歩く。

行田女子高校の手間を右折して秩父鉄道に近づく。久伊豆神社（10時25分）があった。東行田駅には10時32分通過。酒巻導水路（10時47分）を横切り、忍川（おしかわ）を渡ると行田市駅（10時55分）があった。この駅は忍川に沿ってあり、絹栄橋が忍川に架かっていた。これまで通過した駅の中では最も賑やかであった。駅の広場もゆったりしていた。この駅から暫く忍川に鉄道が続き、その遊歩道に沿って歩く。11時11分、5羽の子連れの子白鳥ファミリーに会う。親が先頭になり、子供を水際に導く場面であった。別の親が殿を努めていた。このアットホームの光景を実の子を虐待するような親に見せてあげたいものである。



左上：ひろせ野鳥の森駅 右上：大麻生駅 下：武川駅

11時20分、諏訪神社を見かける。この神社から少し引き返したところに持田駅（11時25分）があった。この駅から熊谷駅までは国道125号線を歩く。丁度昼時となり、熊谷駅前ニッソーモールの4階にある杵屋（12時35分）で昼食にする。15分位、食事休憩後、線路を横断して鉄道の右側に出る。熊谷駅には13時到着。駅前には秩父鉄道の自社ビルがあった。頭上には上越新幹線があった。この駅から1Km位、JR線・秩父鉄道・上越新幹線が平行して走っていた。小鳩の羽ばたきが印象的であった上熊谷駅には13時15分到着。高崎線と踏破の際聞き覚えのある石原駅には13時33分に着く。この駅が寄居までの中間点であった。

赤城・久伊豆神社（皇国鎮護）辺りから頭上の上越新幹線と別れを告げる。熊谷から石原駅にかけて秩父鉄道は複線であった。しかし、石原を過ぎた辺りから、かつての複線事業の跡（進行方向に対し左側廃線）を見かける。ここでもリストラの実態を感じる。その土地を利用して駐車場となる。熊谷ゴルフクラブ（13時55分）を少し行った先に、駅建物が印象的な「ひろせ野鳥の森駅」に14時4分到着。この駅前には名前の通り野鳥の森があった。ここから左側が県営大麻生ゴルフ場、右側が秩父鉄道である遊歩道を歩く。この遊歩道は荒川に沿ってあり、数Kmに渡り続く。少なくとも、大麻生駅（14時35分）の手前から明戸（あけと）駅まではこの遊歩道の土手を歩く。大麻生駅前には、「荒川田園コース」（ふるさと歩道案内：熊谷市役所環境保全課（048-524-1111））があった。明道寺（15時10分）から少し行った先に明戸駅（15時25分）があった。行き過ぎたと思っていたが。駅員が駅の清掃している場面に出くわす。



何回もクリアした主な駅

寄居駅
北千住駅
大宮駅
小山駅
川越駅

左上：永田駅 右上：小前田駅 左下：寄居駅 右下：波久礼駅

武川駅には 15 時 58 分到着する。S L 機関車（三峰口 14 時 3 分発パレオエクスプレス）を撮影するために設置したと思える陸橋があった。数人の写真家が S L 機関車をカメラに収めようとしていた。その場面に運良く対面することができた。熊谷行き S L 機関車が蒸気をふかして武川駅に寄居の方向から入場する場面であった。5 両編成であった。このうち先頭車両が S L 機関車（乗客設備なし）であった。十数人の人達がこの場面を見ようと道路に群がっていた。永田駅には 16 時 37 分到着。今日は 3 月上旬の気温で肌寒かった。そのため、冬着に逆戻りで臨んだ。関越自動車道の手前には子牛専用の小屋（1 m 位の高さで畳 1 枚位の広さ）があった。何の入れ物かと思っていた。奥様が餌を運んでいる時間帯（17 時 2 分）だった。

花園小学校前を 17 時 24 分通過。この前で後ろから来た中学生位の女子生徒の自転車に追突されそうになる。花園の地名は八高線踏破の際、道に迷った箇所であり今でも印象に残っている。この辺りから周りが暗くなり始め、明かりをつけた電車となる。小前田駅には 17 時 37 分に着く。この駅から梅沢駅まで道らしい道がなく、農道を歩く。もう少しで迷いそうになったが、パチンコ屋のネオンが目印となり難を逃れる。桜沢駅には 18 時 5 分到着。

本日は日没が 18 時 40 分頃であるが、本日は曇り空が大半であったため、梅沢駅到着時には電気の照明が目立つようになっていた。この駅から鉄道にそって道路が続く。途中、八高線も秩父鉄道と平行にして走る。背景に標高 150m 位の小山が印象的な桜沢公園前には 18 時 7 分到着。途中、東武東上線の踏切を横切る。寄居からの電車が来る。

道路の右側には玉淀駅（18 時 25 分）あった。数年前八高線踏破した際の記憶が蘇る。辺りも暗くなったので、念のため。玉淀駅まで引き返し寄居駅までの道筋を確認する。懐かしいコースを歩き、ライフ（スーパー）が目立つ寄居駅には 18 時 40 分到着。次の高麗川駅行きは 19 時 30 分までないので、ライフに夕食用のパンを購入に行く。



波久礼駅前

荒川

19 時 30 分の 3 両編成ディーゼルで高麗川に向かう。ワンマンカーではなく駅員がいた。折原、竹沢、小川町、越生、毛呂と八高線を代表する懐かしい駅を通る。高麗川には 20 時 9 分到着。20 時 20 分の電車で八王子へ。八王子 21 時 24 分、町田 21 時 57 分の電車で自宅へ。自宅には 22 時 25 分到着。本日は羽生駅から寄居駅まで 18 駅があり、写真撮影に労力を要したが、運良くすべてカメラに収めることができた。本日は、天気予報では雨に遭うことも想定されたが、運良く回避できた。5 月としては、朝夕少し肌寒く感じたが、天気も時々太陽が射し、ウォーキングとしては最高の天候であった。久しぶりに 30Km を超えたし、道に迷うことなく順調に 10 時間歩き続けることができた。万歩計も最高の 98,523 歩を観測した。まさか寄居までは歩けるとは思わなかった。本日は西武線との交流戦もラジオを聴かずにかえる。結果は小久保の満塁ホームランにて 9 対 5 で勝利した。充実した一日であった。これで秩父鉄道踏破の目処がたった。

第2節 5月21日(土)：寄居～御花畑 晴れ

寄居(8:15)～波久礼(はぐれ、9:20)～樋口(10:32)～野上(11:15)～
長瀬(11:50)～上長瀬(?)～親鼻(13:10)～皆野(13:40)～和銅黒谷(14:25)～
大野原(15:45)～秩父(16:30)～御花畑(16:50)

秩父鉄道の第2弾は、2005年5月21日(土)晴れの中、先週に引き続き実施。本日のコースは、寄居＝御花畑間25.9Kmである。本日も4時過ぎに起床し、南林間5時29分の始発で、町田(5時46分)、八王子(6時32分)、高麗川(7時28分)経由で寄居駅に向かう。6番ホームに8時15分到着。寄居駅は6番ホームあり、1番・2番ホームを東武鉄道が、3番・4番ホームを秩父鉄道、そして5番・6番ホームをJR八高線が使用している。JR線のみが非電化線路となっている。

8時15分、寄居駅に着き、25.9Km先の御花畑を目指す。駅前にはタクシーが数台並んでいたが、乗客の気配は全くなかった。ライフも開店前のため人影はなかった。寄居駅は、4年前の八高線の際に2回と、先週の終着駅に通過した関係で、これで4度目乗り降りとなる。寄居駅の看板はこれまでも印象に残っていたが、本日の写真撮影で記憶が更に強くなった。寄居小学校(大里郡寄居町立)を8時32分通過、その先にJR線が道路の下を潜って小川町の方面に続いていた。4年前、誤ってこの線路を見逃して秩父鉄道に沿い歩いていた思い出が昨日のように浮かんできた。意識しないと、鉄道が道路より下の場合、溝は川と思い通り過ぎる可能性がある。このような場面に何回も遭遇した。

寄居末野郵便局、皆野寄有料道路を8時50分頃出くわす。自転車で旅行をしている40歳位のマニアと出会う。最近、ウォーキング先でこのような人をよく見かける。本日は国道140号(彩甲斐街道)を主に歩く。その関係で歩道が狭い箇所が何箇所もあり、歩くのに神経を費やした。特にダンパーカーが通り過ぎるときには、過度に神経をすり減らした。秩父セメントの関係からか、異常にトラックが多かったような気がする。秩父に繋がる唯一の幹線道路でもあり、車が上下線とも多かった。



左上：樋口駅 右上：野上駅 左下：長瀬駅 右下：ライン下り現場

平成 17 年 3 月にできたばかりの新金場橋を渡った先に波久礼（はぐれ）駅（9 時 20 分）があった。この駅から歩いて数分行った高台に「かんぼの宿」（鉄筋立）があった。波久礼駅手前から腹痛を起し、体調を整えようと思っていた矢先、運良く掃除したばかり駅トイレ（ホーム外）があり、このトイレを借りて体調を整える。これまでも腹痛を起し、駅、スーパー、パチンコ屋等にこれまでも何度か駆け込んだことがある。駅前にはふるさと歩道案内板があった。ウォーキングコースとして鉢形コース、玉淀コース、由良田コースがあり、その掲示（寄居町商工観光課 048-581-2121）があった。

樋口駅への途中、国道 140 号線に沿って流れるブルーの荒川と対面。水面には山を映していた。水面まで 50m 位はあっただろう。ライン下りに使用されると思われるカヌーもあった。風光明媚な遊歩道を 300m 位歩く。遊歩道の左の真下には荒川が、右には国道 140 号、秩父鉄道が急傾斜の山に沿って続いていた。向こうの対岸で釣りを楽しんでいる人がいた。10 時 20 分、前方にスキダイバーの姿があった。天気もよく最高のコンディションであろう。樋口駅には 10 時 32 分着く。駅建物はなく、改札口はホームにあった。丁度熊谷行きの電車が来る。道路標識に宝登山、岩畳、長瀬（ながとろ）八景の案内を 10 時 55 分見る。電池購入と暑さを和らげるためのアイス購入のため、セブンイレブン（秩父郡長瀬町中野上）に 11 時入る。

長瀬町役場のお隣の長瀬中学校（11 時 5 分）では運動会が開催されていた。秋の運動会にはこれまで何回か出くわしたが、春の運動会はウォーキング以来始めてである。コスモス等が印象的な花畑の先に、野上駅（11 時 15 分）があった。この駅から長瀬駅

までは、国道 140 号ではなく、主として町道を歩く。長瀬駅には 11 時 50 分到着。駅前には子供連れの人達が多数いた。駅前にはライン下りの垂れ幕があった。また、観光のため、手打ち蕎麦店や土産屋があった。また、観光センター（0494-66-0307）もあった。民宿「たじま」でとろろ蕎麦の大盛り（1,250 円）を注文する。20 畳くらい店（和室）に 7 つ位のテーブルがあり、昼時でもあり、2 つのテーブルを除き一杯であった。待ち時間を利用して、長瀬の見所百科チラシを見る。七草寺めぐり、天然ウォーターアトラクション、岩畳、長瀬船玉まつり、宝登山等たくさんの観光があるのに驚いた。



左上：親鼻駅 右上：皆野駅 左下：皆野駅 右下：秩父駅

30 分位休憩、1.1Km 先の上長瀬駅を目指す。表参道と国道 140 号との交差点に宝登山（ほうどさん）の鳥居があった。秩父鉄道で初めて上長瀬駅を見逃す。駅らしき道筋は見つけたが、確認をさぼったため失敗につながった。12 時 50 分、荒川（親鼻橋）を通過。橋を越えるやライン下りの乗り場への道があった。橋桁水面まで 30 から 50m 位あったと思える。午後からの道筋は午前中に比べ、国道 140 号から駅が離れるため神経を費やした。地図を何度も確認して、親鼻（おやはな）駅を探す。13 時 10 分到着。皆野小学校の先に皆野駅（13 時 40 分）があった。皆野小学校では工事現場があった。皆野駅も道路標識通りになく、2 回ほど異なる道筋に入る事態となった。14 時、皆野駅を通る道と国道 140 号線の交差点木毛（きもう）に差し掛かる。この交差点から 10m 位先から秩父市となる。武甲山が遠くに見えてきた。ここからは武甲山を目標に進む。

14 時 15 分、村社聖神社・和銅遺跡入口の交差点に来る。黒谷駅には 14 時 25 分通過。

横瀬川（15時5分）を越え、大野原駅を目指す。この大野原駅でも駅看板が私にとっては実態と異なるように思え、3回間違えて進む。途中、立正佼成会秩父協会や村社愛宕神社があった。大野原駅には15時45分到着。厳密に言うと、少し近づくために歩きを要するが、国道140号線から記念写真で代用する。本日は11時位から日差しが強くなり、歩くのにエネルギーを要した。先週のウォーキング日とは比較にならない。秩父駅ももう少しで通り過ぎそうになったが、武甲山のお陰でクリアすることができた。国道140号線からはずれ一般道に入る。踏切を越えて、秩父駅を確認する。150m位行き過ぎていた。秩父駅には16時30分到着。駅前には秩父鉄道のシンボルだけあり、ゆったりした駅前であった。第一ホテル、アイフル、秩父タクシーの看板を目にする。御花畑駅も鉄道の左右をあっちこっち見ながら進む。御花畑駅に着く（16時50分）否や救急車が来る。ご婦人をタンカーで駅員が運んでいた。駅はごみごみした中にあった。



左上：御花畑駅 右上：三峰口駅 左下：白久駅 右下：武州日野駅

この駅から、西武秩父駅まで歩く。行き・帰りの電車で登山・ウォーキング客が多かった。17時2分の飯能行きで自宅へ。東飯能18時6分、八王子18時38分、町田19時20分の電車となる。自宅には19時50分となる。本日は、巨人＝日本ハム戦を時々ラジオで聞きながらの帰りとなる。結果は10対9で日本ハムに打ち勝つ。夜9時からグリーンマイルを見る。久しぶりに3時間テレビに釘付けとる。スピルバークが4回泣いた！全世界が心を震わせた魂の最高傑作だけあり見応えがあった。また、歩きながら、累積確率密度関数と自然指数での表示の利殖関連を考える。運良く大脳のビデオテープが美味しく作動しイメージを掌握することができた。本日は、私にとって種々の面で非常

に充実した一日となった。本日の万歩計は 67,434 歩だった。

第3節 6月4日(土)：三峰口～御花畑 曇り一時雨

三峰口(10:52)～白礼(11:25)～武州日野(12:15)～武州中川(13:05)～
浦山口(13:45)～影森(14:20)～御花畑(14:55)

秩父線の仕上げは、天気不透明の中、2005年6月4日(土)実施。本日の予報は、曇り午後から雷雲の影響で強く雨が降る恐れがあるとのことである。行くかどうか思案の結果、残りの三峰口から御花畑までの12.0Kmを歩くことにする。雨にあっても距離が短いため何とかなると見込んだためである。しかし、本日の15時頃の強い雨は中止も余儀なくされるであろう。5時半に起床しセブンの散歩をすませ、南林間駅に向かう。本日の足取りは、南林間7時34分、町田7時59分、東飯能9時28分、西武秩父10時29分となる。三峰口には10時52分に着く。本日は運良く、東飯能駅から乗り換えることなく三峰口まで行くことができた。東飯能駅はホームが一つしかない。かつては二本あったと思われる。JR線から見て遠い部分は、駐車場等に変身していた。8両編成で西武電車が入場する。西武秩父駅のひとつ手前の横瀬駅で前4両が三峰口、後ろ4両が御花畑経由で長瀬・寄居行きとなる。遠くに銅像が見える芦ヶ久保駅到着(10時5分) 辺りから、曇り空から晴れ模様となる。面白いことに三峰口行きは、西武秩父駅から進路方向が逆となり、御花畑経由せず秩父線に入る。小学生の団体が浦山口まで一緒に賑やかな車中であつた。引率の女性の先生が、傍目を気にして行儀の悪い男子児童のところに何度も注意に行くが効果なし。

秩父線の電車に乗るのは初めてである。残念なことに、最後のチャンスである秩父線利用にもかかわらず、本日は東飯能駅～三峰口駅まで西武直通ダイヤに巡り合わせたため、秩父電車に一度も乗る機会を持てなかった。というのは、羽生と寄居、寄居と御花畑間は秩父線に乗らずつたい歩きをしてきた。それ故、車中からの風景は新鮮であつた。山間を通り三峰口まで駆けぬく。浦山口で小学生の団体が100名位下り、三峰口まで行った客は20名位であつた。天気が不安定のためであろう。下りる方向が分からずホームでうろうろする。もう少しで愛用のお茶ケースを忘れるところであつたが運良く気づく。四街道駅や寄居駅でも忘れそうになったが気づく。運の強いケースである。何か忘れたような気がしたら、予備のAPSフィルムを持って来るのを忘れた。それで、8枚のフィルムで終結することとする。西武秩父駅～三峰口まで430円の乗り越し料金を窓口で支払う。11時の到着であつた。駅前には、SL機関車と写真を撮るコーナー(自分の顔を穴から出す)もあつた。公衆トイレの壁の花写真の見頃時期をメモする。

ハナショウ	6月上旬	両神
シャクナゲ	4月中旬～5月中旬	大滝
アズマイチゲ	4月中旬	荒川・両神
カタクリ	4月中旬	荒川・大滝
ザゼンソウ	2月下旬～3月下旬	荒川
セツブンソウ	2月上旬～3月中旬	両神・荒川

本日は沢山の橋と対面する。最初は11時15分、二見沢橋である。ゴミ収集車と白久まで抜いたり抜かれたりする。札所30番の案内板の先に白久駅（11時25分）があった。踏切を渡った先に「白久の串人形芝居」の看板（荒川村教育委員会）があった。串人形の仕組みの他、二人で操る仕組みは全国でも珍しい人形芝居である旨の記載もあった。人形芝居の看板をみて去ろうとした瞬間、天気空の中雨粒を数滴感じる。鉄道を右手にして歩く。湯ノ入橋、中山橋、姥神橋、境沢橋それから将門橋を經由して国道140号線に出る。「道の駅荒川村農園村」の道路に掛けた看板も目にする。ここで12時のサイレンを聴く。国道に沿って歩いた先に武州日野駅（12時15分）があった。

駅手前の店で昼食を取ろうとするが、営業しておらず先を急ぐ。武州日野駅を過ぎた辺りから晴れ空から曇りとなる。天気予報通りであった。安谷川に跨る安谷橋（12時25分）の先に、今では秩父市役所支所となっている荒川村役場があった。12時45分、武州中川駅の手前のそば道場「あらかわ亭」で昼食とする。私が入ろうとした瞬間沢山の人が店から出てくる。秩父は蕎麦の町だけあり、至るところに手打ち蕎麦の看板を目にする。20分位休憩して店をでる。武州中川駅には13時5分クリア。この駅も三峰口、日野駅と同様駅前に最近できたばかりの公衆トイレがあった。恐らく巡礼者のために作ったのであろうと推察される。この駅辺りから晴れ模様となる。

鉄道沿線に沿った材木工場の広場を通り進む。突き当たりに「かみたの幼稚園」があった。この先で国道140号と秩父線との交わる踏切があった。13時25分浦山ダム入口の案内板をみる。恐らく朝浦山口駅で降りた小学生団体の行き先とも思えた。13時30分、道路下に浦山川が道路の手前で蛇行する溪谷を目にする。フィルムに余裕があれば写真撮影をしたのであるが。橋には溪谷をみるスペースがあった。

I wish I could take a picture.

武州中川駅から浦山口駅にかけて2回、線路と道路が交差していた。しかし、踏切形式ではなく、鉄道が道路の下を潜っていた。黄色い常磐橋を通り、浦山口駅には13時45分到着。近道も見つけたので、国道から切り替える。駅に到着するや否や上り電車が来る。再度国道に出た際、方向性を地図で確認して進む。道が蛇行して道に迷う恐れがあ

るからである。浦山ダムへの道路があり複雑にしていた。交差点にセブンイレブンがあった。

影森駅への道のりから天気が急変しつつあった。2時過ぎにもかかわらず辺りが暗くなってきた。この様子だと、あと1時間以内に雨になる恐れがある。夫婦連れの後に着いて行くと、二十七番札所「龍河山大淵寺」があった。時計を見ると14時5分であった。御花畑踏切（No. 19）を越え、少し戻った先に影森駅（14時20分）があった。駅前には開運「琴平神社」の看板があった。影森駅は、秩父鉄道の車庫もあった。荷物を運ぶ列車もあった。影森小学校や幼稚園も駅の近くにあった。また、明日辺り田植えをすと思われる水田を見かけた。3m位に切ったヒノキ柱の材木現場もあった。最後の橋である押堀橋を14時43分通過。この辺りで空は真っ暗になる。今にも雨が降りそうである。御花畑踏切（No. 7）、西武秩父線を潜って、仲見世がある西武秩父駅に向かって急ぐ。下りの特急が頭上を通過する。残念ながら駅50m手前で小雨に遭う。14時55分秩父駅に着くや否や大雨となる。非常に雨が降りこむ格好になり最高の気分である。

「秩父線 豪雨寸前 幕閉じる」



左上：武州中川駅 右上：浦山口駅 左下：影森駅 右下：西武秩父駅

15時7分の電車で自宅を目指す。町田淀橋カメラによる用事があり、自宅には18時20分の到着である。本日の万歩計は35,813歩となった。通算営業距離も2,900Kmを超えた。後4回から5回で3,000Kmの金字塔を達成できる。思えば秩父線は面白かつ

た。計画がよく、効率的に踏破することができた。羽生から寄居にかけては田園風景であり、一方、寄居から三峰口にかけて山間風景であった。トンネルを一度も通ることなく、羽生駅から三峰口駅 71.7Kmを踏破することができた。秩父路は蕎麦の町であることが強く印象に残った。秩父の名山である武甲山の名称の由来も何となくわかったような気がする。武川のSL機関車との出会いも最高であったし、長瀨のライン下りの現場を見ることもできた。更に、札所巡りにも秩父へ足運び甲斐がある。どれも体を通じて得た貴重な経験である。いいシリーズであった。